

●高齢者の薬

『写真でわかる早引き高齢者の薬ハンドブック』(エクスナレッジ 2016)

高齢者によく処方される薬を、写真つきで解説。特徴、副作用等も、記載。

『介護の現場で役立つお薬&医療知識ハンドブック』(ユーキャン学び出版 2015)

高齢者によく見られる症状、薬について解説。服薬中の注意点についても記載。

●こころの薬

『精神科の薬がわかる本』(医学書院 2014)

精神科の治療薬のそれぞれの特徴、副作用などを解説。患者からよく受ける質問と答えも記載。

『こころの治療薬ハンドブック』(星和書店 2015)

向精神薬の事典。処方の実際、用量例ほか、実際に処方したときのエピソードも記載。

●漢方薬

『漢方薬事典』(主婦と生活社 2016)

漢方治療の基礎知識と、それぞれの漢方薬についての詳しい解説。

『症状別&病気別でわかるすぐに使える漢方薬入門』(技術評論社 2015)

疾患ごとに、症状や体質にあった漢方を解説。

インターネットで調べる

豊中市立図書館のサイトでは、インターネットで薬の情報について調べる時に役立つサイトを紹介しています。

◇豊中市立図書館 <http://www.lib.toyonaka.osaka.jp/>
トップページ⇒検索ナビ(お役立ちリンク集)⇒薬リンク集

このほか、わからないこと、お探しの資料などありましたら、お気軽にお近くの職員までお声がけください。
図書館職員は医療相談には応じられません。診断・治療・薬の判断については、医師・医療機関にご相談ください。

検索ナビ 04

薬

豊中市立図書館パスファインダー
「しらべる」ための道しるべ

検索ナビ
04
薬



キーワード

(薬について調べるためのキーワード例)

薬 くすり 医薬品 一般薬 市販薬 処方薬 新薬 漢方薬 ジェネリック 副作用 飲み合わせ 薬草 抗生物質 薬物治療 …

OPACで検索する

キーワードを、図書館の蔵書検索システム(OPAC)で検索してみましょう。各図書館に、専用端末があります。また、豊中市立図書館のホームページからも検索できます。

書名の欄、または件名の欄に、キーワードを入力します。検索結果が多すぎる時は、複数のキーワードで検索したり、出版年を限定してみましょう。

目的の資料が、どこの図書館にあるか、貸出中かどうか、調べることができます。

※件名は、あらかじめ登録されている特定の言葉でのみ検索できます(例えば、「医薬品」「漢方薬」などで検索できます)

分類の棚を探す

薬の分類は、499です。

その他、

491. 5(薬理学) 598. 3(家庭医学)

などにもあります。

※分類とは…図書館の資料は、内容によって分類番号が決まっています。この番号順に棚に並んでいます。番号は、図書の背ラベルに表示されています。

本の背



以下、薬の本を、一部ご紹介します。

貸出中の場合や、お近くの図書館にない場合、予約リクエストできます。

●薬の用量・用法・添付文書などについて調べる

『JAPIC医療用医薬品集』(日本医薬情報センター)

医療薬の効能、用量や用法、添付文書の記載内容を収録。『一般用医薬品集』『漢方医薬品集』もあり。

『ピルブック 薬の事典』(ソシム)

医薬品ごとに、主な作用、副作用、用い方、注意などを解説。薬の実物カラー写真あり。

『くすりの事典 病院からもらった薬がよくわかる』(成美堂出版)

薬の製品名、成分から探せる。効能、使用上の注意、副作用等について解説。薬のカラー写真あり。

●市販薬

『今日のOTC薬』(南江堂)

症状ごとに、選ぶべき薬の成分、使用上の注意、受診を勧める場合など解説。

『薬の選び方を学び実践する OTC 薬入門』(薬ゼミ情報教育センター 2016)

どのようにOTC薬を選べばよいか、イメージマップで解説。生活の留意点も記載。

●ジェネリック医薬品

『ジェネリック医薬品リスト』(じほう)

先発・代表薬の名称で引けるジェネリック医薬品リスト。

●子どもの薬

『はじめてママ&パパの0~6才病気とホームケア』(主婦の友社 2015)

第一章でホームケアと子どもの薬について解説。

『子どもに薬を飲ませる前に読む本』(講談社 2010)

子どもの病気に薬は必要か。子どもの病気、症状ごとの薬、飲ませ方についてなど。

●女性の薬

『基礎からわかる妊婦・授乳婦のくすりと服薬指導』(ナツメ社 2016)

治療、予防などによく使われる薬の妊婦・授乳婦への影響を解説。

『女性のための自分で選べる漢方の本』(PHP エディターズ・グループ 2015)

女性によくある症状ごとに、適応する漢方、飲み方を解説。